理事長報告

理事長　藤井　聖

「明るい豊かな社会の実現」に向けた社会変革運動。
これを成すための不可欠の前提。
それは、「時間」「空間」「人間」という３つの要素において、それぞれに見いだされる優位性、すなわちアドバンテージを活かすことであると説いた。

時好を読み解き「時間」のアドバンテージを活かす。
まちと向き合い「空間」のアドバンテージを活かす。
矜恃をはぐくみ「人間」のアドバンテージを活かす。

時間のアドバンテージ

時間のアドバンテージ、いわば時代の波。
それは、第三次産業の振興、観光立国という波であると説いた。

第二次産業から第三次産業へ。
技術立国から観光立国へ。
わずかここ１０年ほどで生まれた波。
２０１７年において、それは、勢いを増した大きな波となっていた。

そして、この２０１７年の時間のアドバンテージに運命的に交わった空間は、やはり、呉であった。

空間のアドバンテージ

呉という空間と、観光業という時間のアドバンテージとの共鳴。
大和ミュージアム開館、戦艦大和の潜水調査、呉市を含む旧軍港四市（呉市・横須賀市・佐世保市・舞鶴市）の「日本遺産」認定。
この流れの中で必要となる、観光客に対して訴求するシンプルなブランドイメージが必要であると説いた。

そして、「呉＝戦艦大和のまち」というブランドを確立するための各種事業を展開した。

人間のアドバンテージ

我が国初となる戦艦の建造。
世界一の戦艦大和の建造。
戦後にまで連なる精神と技術の継承。
この躍進の原動力となった、夢へ向かおうとする誇り高きプライドこそ、このまちの人々のアドバンテージであると説いた。

そして、「呉市民＝夢抱く人々」というプライドを確立するための各種事業を展開した。

Take ADVANTAGE of the ADVANTAGE

昨年、戦艦大和の設計に携わった西畑作太郎氏がお亡くなりになった。
また一人、あの時代を生きた方々の肉声が消えた。
残念ながら日本から完全に途絶えるＸディが刻一刻と迫っている。

しかし、呉というまちは、その日が訪れたとしても、静かなる無言のメッセージを永久に、日本中、世界中に送り届けることのできる貴重なまちなのである。
そんな尊いまちに生かされる人間だからこそ持たなくてはならないブランドとプライドを見つめなおした。

２０１７年は、悠久の時間の中に生じたアドバンテージに、呉という空間が運命的に交わった瞬間であった。
悠久の時間の中で、忘れてはならないものを改めて我々自身に焼き付けた瞬間であった。
途方もない闇黒の中、必然か偶然か、三つの光明が一点を結んだ稀有な瞬間であった。

２０１７年度、６５周年を迎えた呉青年会議所の運動は、歴史と伝統に裏付けされたアドバンテージを最大限に発揮し、確かなカタチとして残る「目に見える誇り」をいくつもつかんだ。
その成果は、各理事による事業報告のとおりである。

全ての会員が、このまちのために、できるかぎりのアドバンテージを発揮した。
このまちのために、膨大な時間を、労力を、命を注ぎ込んだ。
このまちの人々、あらゆる組織団体から、これまで以上のお力添えを頂いた。

その英知と勇気と情熱に対し、心からの感謝と敬意を表し、結びとする。

副理事長報告

副理事長　盛谷　剛

「Ｔａｋｅ ＡＤＶＡＮＴＡＧＥ ｏｆ ｔｈｅ ＡＶＡＮＴＡＧＥ」という藤井理事長が掲げたスローガンのもと、１年間副理事長を務めさせて頂いた。終わってしまえばあっという間である。しかし、関わったプロジェクト一つひとつを思い返していくと、万感の思いに脳裏が埋め尽くされるほど、有意義な経験であった。この素晴らしい機会を与えてくれた藤井理事長に、また内外様々な形で関わって頂いた皆様一人ひとりに心からの謝意を表する次第である。

さて、副理事長として直接担当したのは、夢を考える委員会と、みんなのアカデミー委員会の２委員会である。

夢を考える委員会では、理事長所信に掲げられた「“呉市民＝夢を抱く人々”というプライドの確立」という方針に対し、呉地域に女性創業者を１名以上つくることを目標に掲げ女性創業者支援事業を展開し、見事にその成果を果たした。その一連の流れの中で開催した元メジャーリーガー黒田博樹氏の講演会では、８００名の募集定員に対して、北は北海道から南は沖縄まで、全国各地より約１８，０００通の応募が殺到するほどの大反響を生んだ。

みんなのアカデミー委員会は、２０名以上の会員拡大を目標に掲げ、実際に２０名の方に仮入会員としてインターン期間を過ごして頂いた。結果として正式入会に至ったのは１４名と残念ながら目標未達成となったが、インターン期間中に行った教育は質の高いものであると自負しており、１０月例会にて新入会員が行った、新たなまちづくり構想発表に対する満場拍手喝采がそれを証明した。

担当委員長である鈴木、大之木両氏と就任直後に約束したことは、曖昧な目標を立てるのではなく、具体的かつ明瞭な成果目標を設定し達成していくことだ。課しておきながら自分で言うのも何だがそれを設定し活動を進展させていくことは、艱難を創り出すものであると想定していた。しかし、どちらも艱苦奮闘しながらもその難しさを乗り越え高い成果をあげてくれた。最後にその２人の熱意に心から感謝と敬服の念を捧げ、報告に代えさせて頂きたい。

副理事長報告

副理事長　　空本　壮平

２０１７年度、創立６５周年の記念すべき年に、「ＴＡＫＥ　ＡＤＶＡＮＴＡＧＥ　ＯＦ　ＴＨＥ　ＡＤＶＡＮＴＡＧＥ」のスローガンを掲げ、まちづくり「戦艦大和のまち呉委員会」の副理事長を担当させていただきました。

「呉＝戦艦大和のまち」というブランドの確立に向け、本年度は、３つの事業を実施しました。戦艦大和のブランド化はすぐに効果が得られるものでもありません。まずは、イメージを周知させること、多くの人に一瞬で、すなわちインパクトのあるパフォーマンスが必要だと考えた事業として、効果的な発信ができる場所である、毎年約３０万人が集結する、呉の恒例イベント「呉みなと祭り」で、長さ１５ｍの戦艦大和バルーンを作成しパレードに参加しました。日本一ネットにも登録された戦艦大和バルーンは、メディアにも取り上げられ、呉青年会議所だけの発信力ではなく、多方面からの拡散により効果のある事業でした。

呉＝戦艦大和の他に、呉にしかできない海上自衛隊とタッグを組んで行った事業。

海上自衛隊のＡＤＶＡＮＴＡＧＥと呉青年会議所のＡＤＶＡＮＴＡＧＥを融合した、初のイベント「呉サマーフェスタ２０１７」を開催しました。そこで戦艦大和尽くしの仕掛けを実施しました。何よりこの事業の最大の仕掛けが、期間限定アイドルユニット「ＳＥＮＫＡＮ★大和」の誕生です。ブランドにおける最も必要な話題性をアイドルユニットのパフォーマンスなどでインパクトを与え、ＳＮＳでの情報発信の拡散により多くの人に興味を持ってもらいました。

アイドル事業は今年度で解散してしまいましたが、呉＝戦艦大和のブランド化として確かな手応えを感じています。

最後に、副理事長という大役をさせていただき、「責任」という重圧を痛感しました。

的確なアドバイスができるのか、方向性をしっかりと導けるのか不安でしたが、戦艦大和を愛し続け、走り抜けた田中委員長の行動力により素晴らしい事業に携わることができました。

数多くの貴重な経験を自分で留めることなく、今後の呉青年会議所を担っていくメンバーに伝えていきたいと思います。本当にありがとうございました。

副理事長報告

副理事長　　森田　旭

６５年目を迎えた呉青年会議所は、「ＴＡＫＥ　ＡＤＶＡＮＴＥＧＥ　ＯＦ　ＴＨＥ　ＡＤＶＡＮＴＥＧＥ」をスローガンに、まちのアドバンテージ・個人のアドバンテージを活かした事業活動を行って参りました。

これまでも、呉で事業展開していく団体ですから、まちの強みを活かすという事は行われてきた事でしたが、改めてスローガンに掲げる事で、呉のアドバンテージをピンポイントに捉え、より際立った事業ができたのだと思います。

私は、総務・広報ラインの担当副理事長として、私のアドバンテージである「呉青年会議所での１１年間の経験」を活かし「演出力の向上」という課題をもって今年度に臨みました。

具体的には、魁！！総務委員会は、式典などの厳粛な場でのミスのない設営、互礼会や記念日例会等でその場に最も適した内容を考え設営する事、時にはシンプルに時には派手にメリハリを大事にし、メンバーや参加していただいた皆様に刺激を与える事。

大和広報委員会には、広報として目立つ事、見せ方に拘る事、細かいところまで妥協しない事をもって事業を行っていただきました。

総務の白井委員長は、最高の例会にしようと毎回色々な演出に悩み苦しみながら挑戦していただき、広報の松村委員長は、細かいところまで妥協せず事業に対して黙々と向き合っていただきました。

もちろん全てが成功したかというと、課題が残った部分もありますが、青年会議所は１年間を、がむしゃらにやれたかどうかが大事な団体だと思っています。そういった意味であれば、今年度は全体的にがむしゃらで最高の年であったと思います。今年の経験をまた今後に繋げていき更に２０１８年度が最高の年になる事を願い副理事長の報告とさせていただきます。

１年間ありがとうございました。

専務理事報告

専務理事　原　晃志

アドバンテージをアドバンテージする、長所を活かす、ということに取り組んだ一年でした。
専務理事の役職は、理事長のアドバンテージ及び呉青年会議所という団体のアドバンテージを発揮するための要であると理解して務めました。
他人のアドバンテージを認め、引き出すことができる、というのが自分自身のアドバンテージであると自任し、このアドバンテージを振り絞りました。

想定しない出来事や困難な事態が数えきれないほどありました。
しかし、そのたびに、他の会員のアドバンテージをお借りして乗り越えることができました。
呉青年会議所には、本当に卓越したアドバンテージを有する人材が数多く集まっているということを何度も何度も実感しました。
本当にありがとうございました。

一年間、これまでに経験したことのない場所、これまでに経験したことのない行事に多く参加しました。
そこでは、様々な人々が、自分のアドバンテージをアドバンテージして、活動しておられました。
このまちのアドバンテージを再認識できる一年となりました。

私たちや子どもたちがこれから生きていく呉というまち。
それは「明るい豊かな社会」でなければなりません。
このまちに生まれて良かった、このまちに生まれたことがアドバンテージだ、と言える社会でなければなりません。

「呉＝戦艦大和のまち」というブランドの確立と、「呉市民＝夢抱く人々」というプライドの確立。
全会員がアドバンテージを発揮して取り組んだこの運動が、確かなカタチとして残る「目に見える誇り」として結実したものと感じています。
２０１７年度の成果が、今後の呉青年会議所にとってのアドバンテージとなり、このまちのアドバンテージとなることを祈ります。

常務理事報告

常務理事　　礒道　忠男

公益社団法人呉青年会議所は、創立から６５周年を迎え、無事に終える事ができました。これも一重に皆々様が、当団体の活動に心を寄せて頂いたためと、大変、感謝を致しております。誠に有り難うございました。そして、本年は５年間で積み立てた当団体会員、特別会員の皆様の大切なお金を使用させて頂きました。このまち、ひとの自身の肌で感じる「目に見える結果」としてご活用させて頂いたものと自負しております。

個人的に思い出されるのは、日本ＪＣとの関わりとして、ＪＣＩ　ＪＡＰＡＮ少年少女国連大使を呉から初めて輩出でき、啓発活動のため共に色々な団体様や行政等へ顔を出させて頂きました。また、国際活動として、台湾高雄ＪＣメンバーとの高雄と呉での国際交流をさせて頂きました。

私は、「行動力」というアドバンテージを活かして１年間、邁進して参りました。当団体の運営を支える重責ある常務理事として、本年のスローガンとして掲げた「呉＝戦艦大和のまち」というブランドの確立のため、「呉市民＝夢抱く人々」というプライドの確立のため、呉市における観光振興の時流や社会環境の変化を踏まえた最適な事業であるのかをメンバーと共にしっかり議論し、実施ができたのではないかと存じます。また、会計担当として各事業における適切な費用の支出がされているのか、しっかり精査をさせて頂きました。最適な内容の事業で、適切な費用支出、団結力のもとにスローガンへの呉のまちにおける試金石となったものと確信しております。

次年度に対しても、本年までの呉青年会議所の引き継ぐべき良い点、悪い点があれば精査して頂き、次年度も目に見える誇りに向かって、取り組んで頂きたいと思います。私も一メンバーとして、尽力していく所存です。

重ねてにはなりますが。１年間、皆様には大変お世話になりました。有り難うございました。

常務理事報告

常務理事　平原雅啓

２０１７年度は公益社団法人として初めての周年を迎えました。
周年に向けて積み立ててきたお金は「呉＝戦艦大和のまち」というブランドの確立、そして「呉＝夢抱く人々」というプライドの確立という公益目的事業の為に使われ、大いに呉をＰＲし、多くの呉の人達に夢を与える事が出来たと感じました。

公益担当の常務理事としては、県に事業計画書・予算書の提出、役員変更の届出等を行い、各事業においては公益目的事業として適正かどうかの判断を県と連絡を取りながら進めてまいりました。

その中で感じたこととして、呉青年会議所が当初から登録している公益目的事業の事業種目１種類だけでは、呉青年会議所が行っていく事業展開に対応するのが限界で改善していく必要性を感じました。

通常の業務としては専務理事と会計担当の常務理事と共に各種会議資料を審査・作成し、各委員会との連絡調整など事務方を遂行致しました。

また、対外ではセクレタリーの皆様には日本一カッコイイ理事長になって頂けるようアテンドして頂きました。

常務理事という役職を仰せつかり、一年を通じて多くの場面で背伸びをさせていただきました。公益の事を叩き込んで下さった専務、いつも取組む姿勢を見せてくれる磯道常務、靴底を減らして理事長の鞄を持ってくれた、松本筆頭セクレタリー、大下セクレタリー、定森セクレタリー、髙橋セクレタリー、松村セクレタリーに感謝致します。

『事業報告』

戦艦大和のまち呉委員会
委員長　　田中　孝一

〔スローガン〕　　大和のふるさと呉

「呉＝戦艦大和のまち」というブランド確立のため，１年間活動させていただきました。

４月には，呉市二河野球場で初のウエスタン・リーグ公式戦（カープＶＳソフトバンク）が開催され，「大和カープ坊や」のノベルティグッズ配布や呉グルメブースなどを担当させていただき，約５，０００名に「呉＝戦艦大和のまち」ブランド化計画と呉ＪＣを周知できました。また，数十万人が集まる呉みなと祭では日本一ネットに登録された「バルーン戦艦大和」パレードやＶＲ戦艦大和，戦艦大和合成映像など戦艦大和を全面に押し出し，呉＝戦艦大和のまちというブランドイメージの周知ができました。沿道の方々が「やまと！やまと！」と声を出していただけたことは，とても嬉しかったです。

呉海上花火大会と同日に，海上自衛隊呉地方総監部の城山グラウンドを一般開放し，初めての形で呉サマーフェスタ２０１７を開催しました。初めて公開する地下壕や湾内クルーズなどもあり，開門時間前には長蛇の列ができました。呉市内の高校生などにステージ出演していただき，控室として第一庁舎をお借りできたことなど，特別な体験や機会になったと思います。「呉の高校生でよかった。」という言葉が，とても印象に残っています。そのステージでアイドルユニット「ＳＥＮＫＡＮ★大和」を初めてお披露目させていただきました。オーディション合格発表から初お披露目までの日数が少ない中，レッスンだけでなく自主練も頑張ってもらえたことで，クオリティが高い素晴らしい初ステージになり，とても感動しました。その後は，行政機関などからの出演依頼，中通商店街振興組合から駐輪啓蒙活動の協力依頼などがあり，呉市内外でのイベントに出演させていただき，多くの方々に「呉＝戦艦大和のまち」というＰＲ活動を行いました。

この１年間を振り返ると，呉市企画課を始め観光振興課やスポーツ振興課などや，海上自衛隊呉地方総監部など，多くの方々に出会い，多くの方々のご協力をいただかなければ成しえることができなかったと思います。１度だけでなく何回かご一緒をさせていただくことによって良好な関係が構築できたことも，とても大きな成果だと思います。そして，「呉＝戦艦大和のまち」というブランドの確立と「呉青年会議所」のＰＲができたと思います。

このような大きな事業や活動ができたのは，小田副委員長，海生幹事，三戸幹事，委員会メンバーの協力をいただけたこと，そして，個々のアドバンテージを活かせることができたからだと思います。また，呉ＪＣメンバーには，参加していただき共に汗をかいていただけたからこそ盛大な事業ができたと思っています。出会った方々やご協力いただいた全ての方々に感謝いたします。誠にありがとうございました。１年間，楽しかったです。

事業報告

１．事業名：４月例会（第２部）

日　時：２０１７年4月３日（月）２０：２５～２０：５５

場　所：クレイトンベイホテル

協力団体：なし

事業概要（方法）：みなと祭のパレードで行うバルーン戦艦大和と同じ長さ１３メートルを不織布で作成し，大和広報委員会に協力いただき会場全体を使用して模擬パレードを行った。盛り上がることや大きさを実感してもらうだけではなく，事業プランと目的や概要を説明し理解してもらい，事業への協力や参加のお願いを行った。

また，４月１６日（日）呉二河野球場で開催されるウエスタン・リーグ公式戦で行う活動について，カープ女子の寸劇を通して当日行う内容や目的を伝え，楽しく面白く見てもらい理解してもらい，協力や参加のお願いを行った。

検証方法と効果　：メンバーへヒアリングを行った。「実寸大の迫力のある模型など準備してあり，ダイナミックでエネルギッシュだった。」「ど派手な設えで，インパクトも全体の構成もよかった。」「事業当日のテンションが想像できそうな設えで，分かりやすいプレゼンだった。」「持ち時間中に全く飽きる事なく聞かせ，事業に参加したくなる魅力たっぷりの説明だった。」などの意見をもらった。

当委員会が行う事業プラン及び目的を委員会メンバー全員でプレゼンを行い，事業のイメージをしてもらうことができた。また，楽しく見てもらうことができたため，事業に参加してもらえるようなプレゼンができた。

２．事業名：戦艦大和のまち呉事業Ｉ～Ｒｅｍａｋｅ戦艦大和～

日　時：２０１７年4月２９日（土）１０：００～１７：００

場　所：呉みなと祭会場

呉市役所１Ｆ多目的室

協力団体：ひねり屋ジャッキィ　甲斐　健寛氏

ｍｅｒｒｙ　ｂａｌｌｏｏｎ　髙橋　香菜子氏

バルーンアーティスト　甲斐　晃一朗氏

バルーンアーティスト　松山　みゆき氏

バルーンアーティスト　篠原　めぐみ氏

大和ミュージアム

株式会社神田技研　西野　元章氏　他アシスタント２名

Ｓｔｕｄｉｏ　Ｓｌｅｉｐｎｉｒ　小西　千逸氏

腰本　雅也氏

ブループロジェクト　河﨑　圭一郎氏

株式会社　中元本店（呉大和ラムネ）

すてら・ダイニング（伊太利コロッケ呉海軍工廠の工員弁当）

海軍さんの料亭五月荘（大和むすび）

メロンパン（ウズマキ型スネキパン）

事業概要（方法）：第６０回呉みなと祭において，呉ＪＣ６５周年記念事業としてバルーン戦艦大和を製作しパレードを行った。また，立地の良い呉市役所前広場と呉市役所１Ｆ多目的室をお借りして，オリジナルプリントバルーンの配布やＶＲ（バーチャルリアリティ）戦艦大和の体験，戦艦大和の合成映像を見てもらった。さらに，戦艦大和が建造された当時の食を再現して作った各種メニューの飲食ブースを設けた。後日，日本一ネットに「日本一大きいバルーン戦艦大和」として認定された。

【①バルーン戦艦大和】

バルーンアーティストの甲斐健寛氏，髙橋香菜子氏，甲斐晃一朗氏，松山みゆき氏，篠原めぐみ氏にご協力をいただいた。３分割して製作したバルーンを，当日７時に多目的室から広場に運び出して組み立て，幅２．３メートル，長さ１５メートル，高さ３．２メートルのバルーン戦艦大和を製作した。バルーンは約７，０００個使用した。

【②ＶＲ戦艦大和】

テント１張りの中に４台のＶＲ機を設置し，株式会社神田技研西野氏が制作したＶＲ戦艦大和を来場者の方々に体験してもらった。

検証方法と効果　：来場者にアンケートを実施した。また，メンバーへヒアリングを行った。

７９２枚のアンケート結果では，全体で「呉＝戦艦大和のまち」というイメージを持っていなかった方が，本事業を通して８１．７％の方に「呉＝戦艦大和のまち」というイメージを持ってもらうことができた。

２社のテレビ局に放送をしてもらったことと，中国新聞に掲載してもらったことを通して，来場されなかった多くの方々にも「呉＝戦艦大和」というブランドイメージを周知できた。

また，バルーン業界で世界的に有名なひねり屋ジャッキィ甲斐氏が，ＳＮＳでバルーン戦艦大和の事業を発信したことにより，日本中だけでなく世界中のバルーン関係者の方々などに，バルーン戦艦大和を呉のまちで造ってパレードをしたということを周知できた。

３．事業名：７月例会

日　時：２０１７年7月3日（月）１９：５０～２０：５０

場　所：クレイトンベイホテル

協力団体：呉ＪＣアイドルユニット「ＳＥＮＫＡＮ★大和」

事業概要（方法）：アイドル事業プランと目的や概要説明を行い，メンバーの寸劇とオタ芸レクチャーを行った。その後，アイドル実演を行い，今までの活動報告と今後の内容やスケジュールを説明し，事業への協力や参加のお願いを行った。

アイドルがデビューする場となる，呉サマーフェスタ２０１７について，事業プランと目的を説明し理解してもらい，事業への協力や参加のお願いを行った。

検証方法と効果　：メンバーへヒアリングを行った。「メンバーを交えた寸劇形式の説明はわかりやすかった。」「募集からお披露目まで短い期間だったが，ダンスや歌が完成されていて凄いと感じた。コメントも立派で，ＰＲしようという熱意を感じた。」「アイドルユニットのお披露目があって良かった。委員会のみで終わらず，会員にどんな事をするかが周知できていた。」「呉サマーフェスタ２０１７の事業説明も何を行うか分かりやすく説明していた。」などの意見をもらった。

当委員会が行う事業プラン及び目的を委員会メンバー全員でプレゼンを行い，事業のイメージをしてもらうことができた。また，アイドル実演を通して親しみを持ってもらえ，応援してもらえるきっかけとなり，事業に参加してもらえるようなプレゼンができた。

４．事業名：戦艦大和のまち呉事業Ⅱ（ＰＲアイドル出撃之部）
～Ｒｅｍａｋｅ戦艦大和～
日　時：７月２９日（土）１２：００～２０：００
場　所：海上自衛隊呉地方総監部城山グラウンド
協力団体：海上自衛隊呉地方総監部
呉市
呉まつり協会
一般社団法人呉観光協会
成底　ゆう子氏
おだ　しずえ氏
新山　真央氏
呉ＪＣアイドルユニット「ＳＥＮＫＡＮ★大和」
呉港高校
福山工業高校
広高校書道部（書道パフォーマンス）
清水が丘高校薙刀部（薙刀演武）
呉昭和高校ダンス部（ダンスパフォーマンス）
呉三津田高校応援団部（ゆるキャラ，チアリーダー）
呉工業高校吹奏楽部（ビッグバンド）
呉商業高校軽音楽部（バンド）
呉氏・呉氏キッズダンサー
ＹＡＭＡＴＯくれびと（よさこいソーラン）
ゆずりはなるこ会（よさこいソーラン）
広島県中山間地域振興課
事業概要（方法）：海上自衛隊呉地方総監部城山グラウンドを一般開放し，海上自衛隊呉地方総監部，呉市，呉まつり協会，呉ＪＣの４団体で構成するサマーフェスタ実行委員会で呉サマーフェスタ２０１７を開催した。呉サマーフェスタ２０１７において，呉ＪＣ６５周年記念事業で結成されたアイドルの初お披露目を行った。ステージイベントの設営やＶＲ戦艦大和を体験してもらった。ステージでは，呉市内の高校生による様々なパフォーマンスやよさこいソーランなどを行った。また，日本遺産ＰＲブースや呉港高校によるミニＳＬ乗車体験などを行った。
検証方法と効果　：来場者にアンケートを実施した。また，メンバーへヒアリングを行った。
２４１枚のアンケート結果では，全体で「呉＝戦艦大和のまち」と

いうイメージを持っていなかった方が，本事業を通して８４．１％の方に「呉＝戦艦大和のまち」というイメージを持ってもらうことができた。また，約半数の方々が呉市外から来られた。

初めて，海上自衛隊呉地方総監部，呉市，呉まつり協会，呉ＪＣの４団体で呉サマーフェスタ２０１７を開催した。６，０００名を見込んでいたが，来場者は７，８５１名であった。初めての試みで知られていないことを考慮すると，告知方法が良かったと思う。

多くの来場者に会場内を見てもらったことで，ＶＲ戦艦大和，飲食ブースでのグルメグランプリ，戦艦大和カレイライス，ステージのバックパネルやステージ下の横断幕など随所で「呉＝戦艦大和のまち」ということを知っていただくことができた。

アイドルの初お披露目ステージについては，当日はＳＴＵ４８の握手会が広島市内で行われたが，アイドルを見るために呉サマーフェスタ２０１７に来たということをＴｗｉｔｔｅｒに投稿されていた方や，ＦａｃｅｂｏｏｋやＹｏｕＴｕｂｅなどのＳＮＳに写真や動画を投稿されている方もいた。

呉氏Ｔｗｉｔｔｅｒのご協力をいただけたこと，中国新聞やくれえばんに掲載してもらったことによって情報が拡散し，より多くの方々にアイドルや呉サマーフェスタ２０１７を見てもらえた機会が増えたため，見に来られていない方々にも知っていただくことができた。

５．事業名：戦艦大和のまち呉事業Ⅱ（ＰＲアイドル結成之部）
～Ｒｅｍａｋｅ戦艦大和～
日　時：３月２８日（火）～１２月２日（土）
場　所：ダンススタジオＦＬＥＸ呉駅校
海上自衛隊呉地方総監部城山グラウンド（呉サマーフェスタ２０１７）
れんがどおり
三原駅前（三原やっさ祭）
中央公園噴水広場（くれ中央夏祭り）
呉ポートピアパーク（くれエコフェスタ２０１７）
大和ミュージアム
呉阪急ホテル（呉ロータリー家族例会）
ＪＭＵ（ＪＭＵ事業祭）
海上自衛隊呉基地　係船堀地区（海自カレーフェスタ２０１７）
絆ホール（呉市健康の日ウオーキング大会）
広島国際大学（学園祭）
呉市地方卸売市場（呉市場祭）
青山高校（文化祭）
フジフラン東広島（インストアライブ）
大浦崎スポーツセンター（おんどフェスティバル）
安浦まちづくりセンター（新ええとこ祭）
三菱日立パワーシステムズ体育館（冬まつり）
協力団体：大和ミュージアム
小井出ファッションビューティ専門学校
ＦＬＥＸ有限会社
株式会社スポート　プロダクション事業部部長　神垣　喜一氏
振付・ダンスインストラクター　ＲＩＲＩ氏
事業概要（方法）：呉ＪＣ６５周年記念事業として，アイドルユニット（７人）を結成し，呉市内外の各地のイベントで戦艦大和のまち呉のＰＲ活動を行った。アイドルユニット「ＳＥＮＫＡＮ★大和」に興味を持ってもらえたことにより，戦艦大和に興味をもち戦艦大和のまち呉に訪れてもらえた。また，戦艦大和ゆかりの地を紹介するＰＲ動画や，メッセージを込めた楽曲のＰＶ動画を制作してＹｏｕＴｕｂｅで配信を行い,「ＳＥＮＫＡＮ★大和」をとおして戦艦大和のまち呉に興味を持ってもらい，呉に来てもらうきっかけづくりを行った。
検証方法と効果　：来場者にアンケートを実施した。また，メンバーへヒアリングを行った。

呉市内外の１９カ所のイベントに出演させていただき，呉青年会議所プロデュース「ＳＥＮＫＡＮ★大和」を通して，戦艦大和のまち呉を知ってもらえ，呉に足を運んでもらうことができ，大和ミュージアムやその周辺の観光施設を訪れてもらえた。また，ユニット名のインパクトで覚えてもらうことができたり，話題や疑問になったりして興味を持ってもらえたので，他のアイドルと差別化ができた。多数のイベントに出演する中で，依頼を受けて打ち合わせをする機会が多くなり，行政機関や海上自衛隊などと呉青年会議所の良好な関係が築けたことも大きな成果である。

呉市外の「ＳＥＮＫＡＮ★大和」ファンも多く，イベント出演を見るため呉に来られていた。中には県外（東京や福岡や岡山など）から来られている方もいた。来られた方は，大和ミュージアムや海上自衛隊呉史料館などの観光をしている画像やコメントをＳＮＳでアップされていた。また，イベント会場近くの飲食店や商業施設に立ち寄ってＳＮＳで画像をアップするなど，観光してもらうことだけではなく呉の良い所も紹介してもらうことができ，第３者からの情報発信によってもっと多くの方々に拡散していった。

「呉＝戦艦大和のまちブランド計画」の横断幕やのぼりを設置したことによって，写真に写り込んだ画像が拡散すればするほど，「戦艦大和」と「呉」が拡散された。

『事業報告』

夢を考える委員会
委員長　　鈴木謙治

〔スローガン〕I have a dream ～私には夢がある～

当委員会は、「呉市民＝夢抱く人々というプライドの確立」というテーマを理事長から与えられ、１年間、「夢」に絡めて、様々な事業を展開した。

当委員会では、抽象的な目標を設定して、それを達成するのではなく、具体的な目標を掲げて、それを達成したときに、呉市民が夢抱く人々であるというプライドの確立に一歩でも寄与したものとするべく、具体的な目標を掲げた。

具体的には、夢を考える事業１（助成対象創業支援プログラム）において、２０１７年内に１名以上が実際に起業すること、夢を考える事業２においては、呉市民の人が夢を考えるきっかけを得られるような、夢を実現した人物の講演会を行うことである。

具体的な事業内容については、後述するが、それぞれの事業について、当初設定した目標を達成することができたことは、本当に多くの方の協力によるものであり、心からの感謝を表したい。もちろん、当委員会が設定した目標を達成すること、が目標というのは、ある意味トートロジーであって、事業の目的はもっと高いところに設定しないといけないのかもしれないが、呉の街に対して事業を行うのに、事業に参加していただいた方の一人に届かない事業では、意味がないのではないかという思いから、目標を設定させていただいた。

今年蒔いた種が、来年以降に少しでも芽が出ることを願いつつ。

事業報告

１．事業名：３月例会（第１部）

日　時：２０１６年3月６日

場　所：クレイトンベイホテル

協力団体　：なし

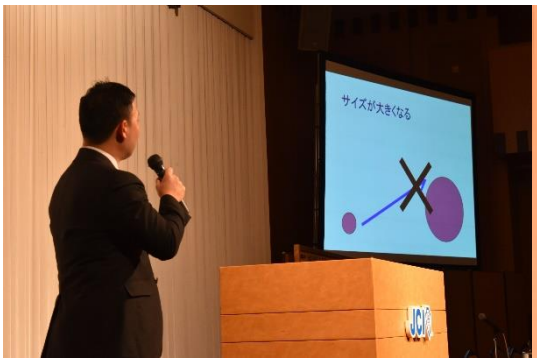
事業概要（方法）：当委員会メンバーによるプレゼンテーションを通して、当委員会の年間基本方針および年間スケジュールの説明を行い、当会議所メンバーへ当委員会の事業の内容を周知した。

①日本と諸外国のデータを比較し、日本における女性経営者の割合が低い状態であるという現状を認識してもらった。また、女性対象の創業支援プログラムと男性対象創業支援プログラムの内容の異動を説明した。

②現在、日本のよその都市で開催されている女性向けの創業支援プロ

グラムをいくつか紹介し、その長所および短所を、それぞれ検討した。
③女性向け創業支援セミナーが、大都市を中心に流行の兆しを見せている一方で、セミナー詐欺というべき、受講料とその講座内容が釣り合わないものが、多くなってきているという問題点を認識してもらった。
④そのうえで、今回、当委員会が開催しようとしている女性対象創業支援プログラムが、無料であることや、行政からの支援を受けたものであること、中小企業診断士の監修を受けた内容の質が担保されたものであることなどを説明して、事業への協力を依頼した。

検証方法と効果：検証は当会議所メンバーに対してアンケートを行った。
当委員会が、現在の呉に対して抱いている、
①女性経営者が少ない
②女性の創業は第三次産業が多い
③女性の創業を支援することで、呉の街に新しい力が加わる
という問題点および現状認識を共有することができた。
また、創業支援プログラムに参加していただく方を募集するために、開催する広島県内で実際に創業されている方を集めた講演会についても、動員の依頼を行った。



２．事業名：夢を考える講演会「「やりたい！」をシゴトにしよう！」
日　時：平成２９年５月２０日（土）
場　所：呉市広まちづくりセンター　３階　ホール
６階　音楽室（託児サービス）
協力団体　：ＲＣＣアナウンサー　横山雄二氏

フリーパーソナリティー　おだしずえ氏
公益財団法人ひろしま産業機構　隅田慶子氏（団体は後援）
一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会　榎志織氏（中小企業診断士）
呉市
呉信用金庫
新里カオリ氏（立花テキスタイル研究所）
竹本裕子氏（niko*）
保田麻月子（三十八花堂）
共同食品工業株式会社
株式会社ますやみそ

事業概要（方法）：
呉において女性対象の創業支援プログラムを行うのに先立ち、創業に対する興味を促すため、広島県内で既に創業されている女性経営者３名とＭＣ２名の計５名でトークショー形式の講演会を行った。

講師については、公益財団法人ひろしま産業振興機構の隅田慶子氏、及び、一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会でコーディネーターをされている中小企業診断士の榎志織氏と協議の結果、尾道市で繊維染色業をされている立花テキスタイル研究所の新里かおり氏、府中市で医療用帽子製造販売をされている niko*の竹本裕子氏、広島市でフラワーレメディ・カウンセリングをされている三十八花堂の保田麻月子氏の３名にパネリストを依頼し、ＲＣＣの横山雄二アナウンサー、呉市出身のフリーパーソナリティーのおだしずえ氏にＭＣを依頼した。

また、育児中の女性が参加しやすいように、当会議所の事業としては初めて託児サービスを提供することとし、保育士による約２０名の子どもを対象にした託児サービスを無料で提供した。

検証方法と効果：一般女性参加者１６４名（男女総数２０７名）に来ていただき、結果として、その後の創業支援プログラムに定員の３０名の方に応募いただくことができた。本講演会に参加された方が約半数を占め、本講演会が、その後の創業支援プログラムに参加するきっかけとなったことが分かる。

内容としては、女性の創業に伴う苦労話を交えた体験談となっていて、綺麗事ばかりではない生の話が聞けたことが、その後のプログラムへ参加する関心を持たせていただいたのだと思う。

また、講演会本体の応募よりも、託児サービスの申し込みの方が出足が好調であり、託児サービスのニーズがあることを把握できたことが、以後の創業支援プログラムにおいても、託児サービスを提供するきっかけとなった。

３．事業名：６月例会

日　時：２０１７年6月５日（月）

場　所：クレイトンベイホテル

協力団体　：無

事業概要（方法）：５月に行った夢を考える講演会に参加していただいた方へのインタビュー動画を上映し、講演会の感想を当会議所メンバーと共有した。

また、講演会にも登壇いただいた三十八花堂の保田さんの１日に密着した動画を上映し、女性創業者に特有の悩みなどの問題意識を共有した。

検証方法と効果：実際に行われた事業に対する感想等は、アンケートの形式で集約されるものが多い中、参加者のインタビュー動画を上映するという方法により、事業の感想をメンバーで共有することができ、新鮮かつ、生の声が聞けて良いなどとする感想が多かった。

また、女性の創業というものに対して、改めて、アプローチしてもらうことで、夢を考える事業１への応募者の掘り出しをメンバーに協力してもらった。

４．事業名：夢を考える事業１

日　時：第１回　平成２９年６月１０日（土）１０時～１３時
　　第２回　平成２９年６月２４日（土）１０時～１３時
　　第３回　平成２９年７月８日（土）１０時～１３時
　　第４回　平成２９年７月３０日（日）１０時～１４時

場　所：第１回　大和ミュージアム　４階　会議室
　　４階　市民ギャラリー（託児サービス）
　　第２回　大和ミュージアム　４階　会議室
　　４階　市民ギャラリー（託児サービス）
　　第３回　海の yeah!!!
　　Bar LEPUS（託児サービス）
　　第４回　クレイトンベイホテル　３階 琥珀の間
　　１階　ダム A（託児サービス）

協力団体　：公益財団法人ひろしま産業機構　隅田慶子氏（団体は後援）
一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会　榎志織氏（中小企業診断士）
中小企業診断士　谷本俊満氏
中小企業診断士　住本俊介氏
中小企業診断士　馬上元彦氏
中小企業診断士　三原孝義氏
中小企業診断士　金田賢二氏
呉市
呉信用金庫
竹本裕子氏（niko*）
保田麻月子（三十八花堂）

事業概要（方法）:

第１回　カリキュラム

委員長挨拶

参加者自己紹介　起業を目指す仲間づくりを促すため自己紹介を行う。

講義　　起業ってどうやるの？
　　起業のステップアイディア出し
　　ブラッシュアップ
　　事業計画にまとめる
　　資金計画や収支計画
　　資金調達
　　開業

第２回　カリキュラム

アイスブレイク　　前回の振り返り等

講義　　事業計画とは？
事業計画の作り方
事業コンセプトを作る　その１
「提供価値を考える」あなたが提供できる価値は何か？
事業コンセプトを作る　その２
「ターゲットを考える」　誰をターゲットとするか？
事業コンセプトを作る　その３
「どのように提供するのか」商品やサービスをどのように
提供するのか？＝差別化要因を考える
外部環境分析 外部環境分析の方法、競合他社の調査

第３回
アイスブレイク　　アイスブレイク
先輩起業家の体験談　起業体験談
講義　　資金計画 何にどのくらいのお金が必要か
必要資金をどこから調達するか
収支計画 売価設定の方法
売上計画の立て方
必要費用の整理
プレゼンテーションの説明
最終回のプレゼンテーションの方法について
プレゼンテーションのコツ等

第４回
ＪＣ挨拶　　委員長あいさつ
起業プラン発表会
委員長と榎先生による総括
修了証授与
全員での写真撮影

検証方法と効果：今回の創業支援プログラムについては、申込者の約半数が、５月に開催した講演会を経由しての申し込みであった。いきなり、創業支援プログラムを開催しても、内容や趣旨が適切に伝わらなければ、参加へのハードルは高いと思われ、事前に講演会を開催した点が重要であったと思う。

東京等大都市では、既に女性を対象にした創業支援セミナー等が流行の兆しを見せており、また付随して、参加費用と内容がバランスが取れていないなどの問題も出てきているところではあるが、今回は、無料で参加でき、また呉市をはじめとする後援がしっかりとサポートしていただいたおかげで、参加者に対して、安心して参加できる信用を提供できたと思う。

内容については、中小企業診断士の方がボランティアで添削をしていただけることとなり、実際に第４回の発表会までに、２往復、３往復とブラッシュアップした事業計画書を発表することができた受講者もいらっしゃった。このような中小企業診断士による添削が無料で受けられるセミナーはなく、講義自体の内容と合わせても、過去に広島県内で開催された創業支援セミナーと比べて、かなりクオリティーの高い事業であったと自負している。

今回は人口約２３万人の呉市でセミナーを開催したが、実際に来年初頭に開業を予定されている方もおられ、潜在的な創業支援プログラムに対する需要はあるものと思われる。しかし、プログラムを受講しても、実際に創業に辿りつくためには、様々なハードルが存在する。今回の事業は、プログラム終了後も継続してサポートを受けられる機関への連携までを、組み込んだところが、現実の創業という結果へ繋がったのだと思う。

５．事業名：夢を考える事業２

日　時：２０１７年１１月１４日（火）

場　所：クレイトンベイホテル

協力団体　：黒田博樹氏
キムラミチタ氏
呉市（後援）

事業概要（方法）：夢を語ることの出来る著名な人物の講演会を行うことで、呉市民に夢を考えてもらう機会を提供するという目的で、元広島東洋カープ黒田博樹氏にトークショー形式での講演を行なっていただいた。ＭＣはフリーパーソナリティーのキムラミチタ氏。

検証方法と効果：８００席余りの会場に対して、北は北海道、南は沖縄まで、全国から１７，８６４枚の応募ハガキが届いた。倍率にして、４０倍を超えるものとなった。当選された方からの感想では、「呉」に黒田博樹さんを呼んでくれて嬉しい、呉に来てくれたことは誇り、呉の街に対するイメージが上がった、などの意見が多く寄せられ、黒田博樹氏の話の内容に加え、呉の街に対する誇りをもたらす効果もあったことを痛感した。講演の内容は、黒田博樹氏の少年時代から引退までの野球人生を振り返る内容のものとなっており。人それぞれ夢は異なるものの、目標に対してどのように立ち向かうべきかなど、超一流選手のメンタルな部分の話を伺うことができた。参加者各人が、自分の夢や目標を考えた１日となったと思う。

『事業報告』

みんなのアカデミー委員会
委員長　大之木　佑美枝

〔スローガン〕　繋がりの輪

「Take　ADVANTAGE　of　the　ADVANTAGE」
矜持をはぐくみ「人間」のアドバンテージを活かす

この理事長所信の下、我々みんなのアカデミー委員会は、「繋がりの輪」というスローガンを掲げ、いろいろな繋がりを大切に、呉青年会議所メンバーみんなで一丸となって志を同じくする仲間を増やすために、１年間活動してまいりました。

近年、呉青年会議所は会員の減少が留まることを知らず、最盛期のメンバー数と比べると、半分以下の人数にまで減少しており、一人ひとりの繋がりの輪が縮小し、私たちの活動や可能性を狭めてしまい、魅力的な事業活動を行うことが難しくなってきている現状を打破すべくさまざまな事業を行ってきました。「会員拡大目標２０名」を掲げ、メンバー全員で総力を揚げ会員拡大を推進し、青年会議所の魅力を多くの人々に伝えるため、オープン例会を開催し、特別会員の方にもご協力いただき、２０名の仮入会員を獲得することができました。

仲間同士の繋がりを深めて、同じ方向を向いて活動することは個人の成長のみならず、まちへの成長と繋がっていくと考え、仮入会員の資質向上のため、思考を凝らしたセミナーを開催することにより、同じ目標に向かい苦悩や歓喜を分かち合うことで志を同じくする新しいＪＡＹＣＥＥが１４人、新たに誕生いたしました。次年度以降、新たなる同士の活動が呉のまちを「明るい豊かな社会」の実現へと導いてくれることでしょう。

事業報告

１．事業名：２月オープン例会

日　時：２０１７年2月６日（月）
場　所：クレイトンベイホテル　３Ｆ　天の間
協力団体　：樋渡社中株式会社　Ｆｏｕｎｄｅｒ＆ＣＥＯ　樋渡啓祐氏
事業概要（方法）：

樋渡啓祐氏を講師としてお招きし、講演会を実施した。講演テーマは「青年のチカラが未来を創る！！」とした。

実施形式については、オープン形式とし、呉市近郊のビジネスに携わる人を中心に参加していただいた。一般参加者への開放は、講演会（含／質疑応答）のみとし、参加費用は無料とした。講演時間は６０分、質疑応答は５分とした。会場設営に関しては、シ

アター形式で自由とした。一般参加者に対する動員方法については、メンバーによるチラシの手配りとＨＰ上での告知、ｆａｃｅｂｏｏｋでの拡散、広告等とした。

検証方法と効果：

一般参加者に対してアンケートを実施した。

会場満員の来場者の中、ご自身が行った改革の経験談や、斬新なアイディア、そしてスピード・ブランド・ストーリーという、分かりやすいキーワードを挙げ、テンポよくお話していただいて大変刺激的な講演会になった。また、アンケート結果から見て、多数の方が地方創生・まちづくりについてヒントがあったと回答していることから、呉地域で活動する企業人に対して、呉の未来について考える場を提供することで、社会の発展に寄与する契機とする、という目的は達成できたのではないかと考える。

また、講師の方に青年会議所のアピールも話の中に入れていただき、呉青年会議所の存在・活動を呉市民に知っていただく機会にすることができた。

青年会議所メンバーにとっても、まちについて考え、新たなまちの創造ができるような機会となった。

２．事業報告

事業名：入会候補者面接

日　時：２０１７年3月２６日（日）１８：００～２０：２７

場　所：クレイトンベイホテル　３Ｆ　花の間

協力団体　：なし

事業概要（方法）：

入会候補者に対する面接を実施した。

候補者１人につき、スポンサーによる紹介、入会候補者による３分間スピーチ（自身のアドバンテージについての内容を入れること）、および候補者１名につき、審査委員による質疑応答を２問ずつ行った。

検証方法と効果：

現役会員へのヒアリングを行い、意見を集めた。その中で、審査委員による質疑応答について各候補者への対応の仕方が各審査委員によって違うとの意見が多くあった。コメント内容等のルール化を行い、質問のスタンスを統一化する必要があるかと考える。

３分間スピーチにて自身のアドバンテージを１つは必ずお話しいただくことで、入会候補者には自分自身について改めて考える機会となり、今から共に歩んでいく現役メンバーに対して、自分自身のことをより強くアピールできた。また、入会候補者が様々なイメージを持って青年会議所の門を叩こうとする中で、厳粛な雰囲気にすることに徹底し、入会候補者の入会適格性の審査を行うことができたと思う。

現役会員に対しては各人の入会当時の状況等を想起してもらい、初心を思い出してもらうことができ、新たな活動に向けてのスイッチが入った事業となった。

３．事業報告

事業名：仮入会員オリエンテーション

日　時：２０１７年4月１５日（土）９：４５～１１：４５
場　所：ビューポートくれ　２Ｆ　大会議室
協力団体　：天野　正道トレーナー
事業概要（方法）：
　２部構成とし、青年会議所の概要・基礎知識習得のためのオリエンテーションを実施した。まず１部にて、委員会メンバーによる、青年会議所についての基礎知識、呉青年会議所の歴史や過去の事業についての説明を行った。２部では、日本ＪＣの天野正道トレーナーによるＶＭＶセミナーを行った。
検証方法と効果：
　ＶＭＶセミナーに含まれない基礎知識と呉青年会議所についての概要や過去の事業紹介を委員会メンバーから説明し、必要最低限ではあるが、どのようなことを実際に行っている団体なのかを知ってもらい、今後の仮入会員としてのスケジュールについて伝えることができたと考える。
　日本ＪＣの天野トレーナーによるＶＭＶセミナーを行い、ＪＣＩクリード、ＪＣＩミッション、ＪＣＩビジョン、ＪＣ宣言、綱領の意味についての説明によって、青年会議所という団体がどのような団体なのか、どのような経緯でつくられ、どのような方向を向いて活動している団体なのか伝わったと考える。
　近年入会者の多い現役会員にとっても改めて青年会議所活動について歴史や活動意義について改めて見直す機会となり、グループ分けを仮入会員、現役会員のミックスにすることにより、交流を深める機会になったと考える。

４．事業報告

事業名：仮入会員セミナーⅠ

日　時：２０１７年5月１２日（金）１９：００～２１：００

場　所：大和ミュージアム　４Ｆ会議室

協力団体　：呉市役所職員　呉市企画部　企画課　課長補佐　多田　博　　氏
企画員　　平賀　英司　氏
副主任　　道方　慎也　氏

事業概要（方法）：

３部構成とし、第１部では仮入会員に改めて呉のまちをより詳しく知ってもらうため、呉市役所職員の多田博氏に、呉市の観光業や観光客の推移、現在行っている観光事業の問題点や考え方やその成果について、日本遺産を中心に講演していただいた。

第２部では、議論の手順として、ブレインストーミング、ＫＪ法について委員会メンバーが説明を行った。

第３部では、第１部の講演と第２部の説明を踏まえ、テーマを「呉市の日本遺産を活かして観光客を増やすためには」とし、グループ討議を各グループに分かれて行い、仮入会員にはまとめとして、グループ毎に討議内容の発表をした。

検証方法と効果：

仮入会員、現役会員へヒアリングを行い、意見を集めた。

呉市役所職員の方に講演していただくことにより、日本遺産とは何なのか、呉市が抱えている問題は何か、行っている取組はどういったことであるのか、現在の呉市について学習することができたと考える。

議論の手順の１つであるブレーンストーミング、ＫＪ法のやり方について説明することにより、議論の進め方について学ぶことができたと考える。

講演と議論の手順を学んだ上で、実際にグループ討議を行うことによって、自分たちの住むまちである呉をもっと良くするためにはどうすれば良いのか、真剣に考える場を提供できた。また、仮入会員同士、活発にいろんな意見を出し合うことによってお互いのことを知ることができ、絆が深まったと考える。

５．事業報告

事業名：仮入会員セミナーⅡ

日　時：２０１７年7月１日（土）１３：００
　　～　２０１７年7月２日（日）１１：３０

場　所：大和ミュージアム
　　大空山青年の家
　　呉市内近郊

協力団体　：特別会員　大之木伸行先輩、奥原誠次郎先輩
　　大和ミュージアム案内係　３名

事業概要（方法）：

１泊２日のセミナーの実施した。

【１日目】（知識＋体力系プログラム）

開会式終了後、各グループに１人ボランティアガイド付きで大和ミュージアムの見学。次に、大空山までウォーキングし、その道中にチェックポイントを設けて仮入会員は大和クイズとＪＣＩクリード、ＪＣＩミッション、ＪＣ宣言の試験、現役会員は大和クイズのみを行った。大空山到着後、入浴、夕食をとり、特別会員より①青年会議所とは、②私にとっての青年会議所生活はどのようなものだったか、③青年会議所を卒業した後の我々の役割とは、の３つのポイントに沿ってご講演いただき、仮入会員全員から質問をした。講演会終了後、居酒屋の青春を行い、仮入会員全員が試験に合格するまで再テストを行い、就寝した。

【２日目】（考察プログラム）

大空山青年の家から大空山公園展望台へ登り、戦艦大和の歴史や手紙の資料を渡し、呉市を見渡しながら大和と戦争、呉というまちに鎮守府ができたこと、大和の艦長、乗組員達、製作者の想いをより強く感じてもらい、国に、まちに、人々にどのような影響を与えたかという歴史を深く知る機会とした。その後、大和ミュージアムへ向かって呉のまちの好きだと思うまち並みや場所を発見し、スマートフォンで撮影しながらウォ

ーキングした。最後に大和ミュージアムにて仮入会員が自分の撮った写真について、これから身に付けたい自分のアドバンテージについて発表した。

検証方法と効果：

仮入会員、現役会員へヒアリングを行い、意見を集めた。

大和ミュージアム見学と呉市内のウォーキングでは、呉のまちや大和の歴史について改めてより深く知ることができ、自分の好きな場所を思い出したり、見つけたり、新たなまちの魅力発見に繋がったと考える。

特別会員による講演においては、ＪＣとはどんな団体なのか、ＪＣ活動を通じて学んだこと、得たこと、そしてＪＣ卒業後の青年経済人としての我々の役割は何なのか、体験談をお話ししていただくことにより、リアルにＪＣ活動の魅力や意義について学ぶことができたと考える。

１泊２日のセミナーとすることで、より多くの時間を共有することにより、仮入会員同士、同期の絆を深めることができたと考える。

６．事業名：８月例会

日　時：２０１７年8月7日（月）１９：５０～２０：５０

場　所：クレイトンベイホテル　３階　天の間１

協力団体　：なし

事業概要（方法）：

新入会員によるインターン期間のふりかえりを行った。ＰＰの流れに沿って新入会員が、インターン期間に行ってきた研修についての報告を行い、ＰＰはインターン期間の研修の内容、その様子が分かる写真等とした。委員会メンバーが司会進行役となり、新入会員へのインタービュー形式で進め、新入会員が話す内容は、インターン期間に学んだこと、感じたこと、印象に残っていること等をふりかえりながら新入会員全員が発表した。

バッジ授与式にて新入会員へ理事長よりバッジの授与を行い、理事長が新入会員に対してエールを送り、２０１７年度新入会員会長の小川直君が決意表明をして、青年会議所へのメンバーとして誇りと希望を持った１４名の新入会員が誕生した。

検証方法と効果：

仮入会員、現役会員へヒアリングを行い、意見を集めた。

インターン期間に行ってきた事業を１つ１つ振り返ることにより、どのような研修を経て正会員になったのか、そして、その時の感想や印象に残っていることを新入会員に自由に発表してもらうことにより、どのような学びを得たのか、どのように気持ちが変化していったのか、新入会員それぞれの個性も現役メンバーに伝えることができた。

新入会員には、みんなのアカデミー委員会と一緒に例会を担当することで、例会運営の方法や流れを体験でき、自分たちで担当する予定である１０月例会の一助となる例会になったと考える。そして、厳粛な雰囲気の中でも温かさのある雰囲気の中でバッジ授与式を行うことで、正会員となった喜びと共に身の引き締まる思いを感じることができたのではないかと考える。

７．事業報告

事業名：１０月例会

日　時：２０１７年１０月２日（月）１９：５０～２０：５０

場　所：クレイトンベイホテル　３階　天の間１

協力団体　：なし

事業概要（方法）：

２０１７年度新入会員による仮想事業の発表を行った。呉のまちをより良くするために自分たちが行うとしたら、どのような事業を行うのか、新入会員の成長の軌跡として、仮想事業「シェアシティｉｎ呉」をＰＰ、動画、寸劇にてプレゼンテーションした。

検証方法と効果：

仮入会員、現役会員へヒアリングを行い、意見を集めた。

呉のまちの現状や抱えている問題について、具体的な数値も含めて調べることによって、呉のまちのことを真剣に考え、より深く知る機会となった。また、事業を構築する過程も経験できた。

担当例会という最終目標に向けて、会議を重ね、その過程で仮入会員期間に築かれていた同期の繋がり・絆がより強く醸成された。

「全く実現不可能な事業ではなく、もしかしたら実現できるかもしれないワクワクするような事業」という難しいお題の中、新入会員全員で、本当によく事業立案ができた。現役メンバーからも現実的で分かりやすい素晴らしい担当例会だったという意見を多くいただいた。発表時間も１時間と長く、新入会員にとって負担も大きかったが、それぞれが真剣に取り組み、成長し、今後のＪＣ活動に活かせる経験になった。

『事業報告』

大和広報委員会
委員長　松村　和樹

〔スローガン〕　**Make a Wave**

「呉青年会議所のバルバスバウになる！」

バルバスバウとは船首船底の球状突起のことで、前方水面下で波をかき分けることで船体への波の抵抗を小さくして、船速を高め効率よく進むことができます。大和広報委員会の役目は呉青年会議所を水面下で支え会員の活動を効率よく前へ進める事だと考え、船出を迎える２０１７年度呉青年会議所を１ミリでも前へ進めることができたらと、そう宣言しました。

２０１７年度呉青年会議所の航海は順調に進み今終着点を迎えます。我々大和広報委員会の役目は、一人でも多くの人にこの呉のまちを知ってもらうことであり、この呉青年会議所の活動を知ってもらうことでありました。年初から始まるホームページやＳＮＳでは誰に対しての発信なのか、それを強く意識することにより無駄な情報であったり身内の話であったりそういったものを極力排除し、読みやすい記事作成にこだわりました。１０年ぶりであった呉青年会議所の法被新調もできるだけシンプルに、かつインパクトを与えるものを作ろうと何度もデザイン変更をしていただきました。また、たくさんの新聞やテレビ、雑誌の記者の方に取材をしていただき我々の活動を取り上げていただきました。色々な手法により広報活動をさせてもらいました。全て、たくさんの人との繋がりにより成し得たことであり、感謝の思いしかありません。

また、広報活動の一環として普段我々の活動を理解し支えてくれている家族や身近な支援者の方々より、ますます理解と支援いただけるよう、普段の例会に招待しました。情報の波を広げるにはまず身近なところから。顔も名前も知らない人にいつでも情報を流せる現代だからこそ、大切にしなければならないものがあると思います。

我々の活動にご協力いただきました市民の皆様、関係者の皆様、呉青年会議所会員、特別会員の皆様一年間ありがとうございました。本年度はたくさんの魅力ある事業を行うことができ、広報冥利に尽きる一年間を経験させていただきました。

事業報告

１．事業名：総合広報ツール更新、管理事業

日　時：２０１７年年間を通して

協力団体：なし

事業概要（方法）：

事業計画書及び会員手帳を含む総合広報ツールとして、２０１７年度（公社）呉青年会議所のホームページを２０１６年度版から更新して管理を行った。

①ホームページに関して

公益社団法人呉青年会議所のホームページの更新と管理を行った。事業報告は、画像毎に文章を記載できるようにし、事業が終わる毎に更新を行った。

②会員手帳に関して

冊子化した手帳は、特別会員、現役会員、ＪＣの関係各所に配布した。手帳には個人情報が記載されているため、ナンバリングがされており、番号によってどの会員に配布された物か特定できるよう名簿を作成した。また会員手帳名簿はデータ化しホームページの会員ページからダウンロードできるようにした。

③事業計画書に関して

事業計画書は、関係諸団体へ郵送、手交にて配布した。事業概要説明の手段の一つとして、毎月の例会に呉市企画情報課の方を招き、参加していただくことで、事業の内容を理解して頂いた。また、関係諸団体へは、新年互例会などの事業概要の説明機会や、事業毎に関係諸団体へ各委員長が出向き説明を行うことで適宜周知を行った。

検証方法と効果　：

ホームページのアクセス数より検証した。

昨年約１万人からのアクセスがあったものが、今年は約１．９万人と倍増している。ホームページとＳＮＳの連携が良く取れて来たと推察できる。また、単純に呉青年会議所が市民の目に触れる機会が増えたことであり、効果的な広報ができた。

２．事業名：年間広報事業

日　時：２０１７年年間を通して

場　所：適宜選定した

協力団体：なし

事業概要（方法）：

各種メディア、各種団体窓口の連絡調整役を務め各委員会事業の中身をよく理解し、各委員会と協力の上、下記の方法で広報を行った。事業におけるチラシ・ポスター作成段階には広報委員会も参加し、告知する書類・チラシは当該委員会からペーパー及びデジタルデータを受け取り確認した。各メディアに対し広報を行う際には呉市役所企画課へ話を通し、呉市や教育委員会の後援が必要な場合は事業概要や事業予定日等について相談を行った。

各メディアに対して記事や広報を行う際には、あて先に則った原稿の提出締切日やルールに従って折衝を行った。事業担当委員会よりプレリリース用の資料を提出して頂き、ファーストコンタクトの際には広報委員会も同行した。ＨＰにおいて事業参加の応募を行う際には、各委員会と広報委員会とＭＩＫＡＮの３者で協議し、応募フォームの作成を行った。呉ＪＣのＰＲについては、ＨＰ及びｆａｃｅｂｏｏｋを利用した。ＨＰ掲載依頼は広報委員会を通した上で、ＭＩＫＡＮと協力のもと運営・管理を行った。ｆ

ａｃｅｂｏｏｋの管理については原則広報委員会のみで行い、適宜審議可決された事業に応じて当該委員会と協力のもと、活発な投稿により情報発信を行った。

検証方法と効果　：

メンバーへヒアリングを行った。

年間を通じて他委員会と連携をとり、お互いの委員会が妥協せず協議を重ねる事により行われる事業の中身を理解し効果的な広報につながった。今年はテレビ、新聞、雑誌などメディアに取り上げられる事が多く、呉青年会議所の活動が世間の目に触れる機会が多い年となってよかった。今年初めて行ったＦａｃｅｂｏｏｋ広告では、分からない事も多かったのでこの経験を引き継ぐ。

２０１７年度呉青年会議所始動にあたり、各広報先と連絡・面通しを行うことによって、呉青年会議所の活動に理解を頂き、様々な広報手段を確立することができた。また、その広報手段を選定する際には、事業担当委員会と充分に協議を行い、事業の内容を理解することで、事業の性質に合わせたより効果的な広報方法を模索し、提案することができた。また、今年度の事業については、くれえばん、中国新聞の記事になり、テレビに取り上げられるなど、マスメディアにも露出する機会をつくることができた。

３．事業名：呉青年会議所法被新調事業

日　時：２０１７年年間を通して

協力団体：なし

事業概要（方法）：

呉青年会議所が使用している法被のデザインを一新し、呉のブランディング化を行うため、戦艦大和がデザインされたものに新調した。

デザインは戦艦大和が一番美しく表現される正面からの構図を用い、カラーは黒と赤を基調としたものにした。黒は戦艦大和を作り出した呉市の「重工業」を、赤は呉市民の「プライド」を表現している。デザイン作成にはＨｉｇｈ　Ｆｌｙ、印刷・作製には株式会社ユニックスに協力してもらった。

検証方法と効果　：

メンバーへヒアリングを行った。

インパクトと勢いのあるデザイン、重厚なカラーリングから、呉らしさと戦艦大和の魅力を最大限に活かすものであると、内外から高い評価を頂くことができた。この法被を着用し、様々な事業に参加することで、呉市民をはじめとしたすべての人に、「呉市＝戦艦大和のまち」というブランディング化と呉青年会議所の存在をアピールすることができた。また、デザインについては、幅広い場面で使用することとなり、クリアファイル、うちわ、幟、ポスターなど様々なツールにおいて、流用することができた。結果として、本年の呉青年会議所を象徴するデザインとなった。

４．事業名：４月例会（第１部）

日　時：２０１７年４月３日（月）１９：５０～２０：２０

場　所：クレイトンベイホテル

協力団体：なし

事業概要（方法）：

今年度当委員会が行う年間事業計画の説明を行った。特に今年度力を入れたＳＮＳを用いた広報活動の一環として呉青年会議所Ｆａｃｅｂｏｏｋページへの「いいね」と「シェア」を例会参加者に促した。その後本年度行われたタイムカプセル掘り起こし事業について１０年前に埋められたものなので、当時を知るメンバーも少なく、１０年前の事業概要から説明した。最後にメンバーの見守る中新調された法被のお披露目を行った。

検証方法と効果　：

メンバーへヒアリングを行った。「Ｆａｃｅｂｏｏｋを利用してみんなを巻き込んだのはよかった。」「手紙を掘り起こすのが楽しみになった。」「法被を理事長に手渡し、いよいよこれから始まるぞという身の引き締まる思いになった。」などの意見をもらった。当委員会の抱える事業が多く駆け足での説明となり、プレゼン全体に一貫性のあるストーリーを持たせることができなかった。しかし何とか、年間の広報計画、１０年前のタイムカプセルの掘り起こしについて、理解していただき、新しくなった法被を披露することができた。

５．事業名：夢を感じるまち継続事業（タイムカプセル掘り起こし）

日　時：２０１７年８月６日～

場　所：クレイトンベイホテル

協力団体：なし

事業概要（方法）：

①掘り起こしについて

１０年前に呉青年会議所が埋めたタイムカプセルを掘り起こし、封入されていたハガキを取り出し、事務局にて中身を精査した後、投函した。掘り起こし作業については掘削工事、運搬、廃棄物処理一式を武蔵サービスに一括して発注した。掘り起こし作業時には、当時の為敷委員長の声かけの上、夢を感じるまち創造委員会、２００７年度の正副役員にも参加頂いた。

②発送について

切手のはがれているものや宛先の読みづらいものが１３５０通あった為、お詫び文と共に封筒に入れ再度宛先を印刷し、投函した。

事業への感想を頂くため、専用のメールアドレスを押印した。

③動画について

手紙を受け取った人にアポイントを取り、夢叶った人や現在進行形で夢を追っている人からインタビューを取り、この呉のまちで夢抱くことのできる動画を現在作成した。

検証方法と効果　：

専用のメールアドレスを設け、手紙を受け取った人から感想を集めた。

以下感想文抜粋

●今日届きました！もちろん、すっかり忘れてました！二人の子供も健やかに成長し10年前が懐かしく思えました！よい、企画だと、思います！うちの会社でも企画してみよーかと(笑)

●16歳の時に、母に向けて送った手紙が母に届きました！26歳になり、今見たら恥ずかしいですが、ほんとに感動しました！！！！ほんとに素敵な企画で、この企画に参加できたこと、とっても嬉しいです！(；ω；)ほんとにありがとうございました！また、このような企画の時には、参加したいです╰(*´︶`*)╯♡

●今日、１０年前の自分が中学生のときに書いたハガキが届きました。

こんなハガキを書いたことなんてすっかり忘れていましたので、いきなり届いたハガキに驚きました！書いてあった内容は幼くて意味は薄かったですが、若いなりに夢や悩みがあったんだろうと懐かしくなりました。大人の自分ももっと素直に頑張らないとと感じました。このような粋な計らいをしてくださった呉青年会議所のみなさんに感謝です、ありがとうございました(´；ω；`)！！！

●10年前、たまたま旅行で呉を訪れ、この手紙を書きました。当時付き合っていた彼との旅行でした。それぞれの実家に宛てて手紙を書いた記憶はあり、広島を通るたびに、いつ届くかなーと思っていました。つい昨日のことのようですが、10年にもなるのですね。振り返れば、この10年、色々なことがありました。希望する仕事に就職でき、当時の彼は夫になり、２人の子どもに恵まれました。手紙に書いたように、父

は退職し母と仲良く孫に囲まれ生活しています。若すぎる写真にすこし恥ずかしいですが、とても良い企画ですね。また 10 年、頑張りたいと思います。ありがとうございました。
●１０年前のはがき送付頂き有難うございました。
小学生だった孫は大学生になっています。主人は７年前に亡くなっていますがそれぞれ成長して喜んでいます。有難うございました。
青年会議所の発展を御祈りします。
●先日タイムカプセルが無事に届きました。私は東京出身在住ですが、10 年前の夏に、主人の実家が広島県海田なので帰省中に家族 4 人と主人の兄とで参加させていただきました。当時息子は小１、娘は幼稚園の年少でしたが今は息子は高３になり娘は中二になりました。今年の正月から息子がしきりに「今年は呉からタイムカプセルが届くはずだから楽しみだな」と何度も言っていたので届いた時は家族全員で喜びました。そして偶然にも今年の三月に十年ぶりに呉にも訪れていたので何か御縁を感じます。東京では、昨年から広島カープの知名度が大変上がってきていて、巨人の帽子をかぶる人は見かけないですが、広島カープの帽子をかぶる子ども達を大変よくみかけます。誇りにも思いますし嬉しいですね。呉線から見える海と、広い街並みが好きです。呉のダンスも東京でも流れていました。また是非とも行きたいと思います。呉青年会議所様に感謝でいっぱいです。ありがとうございました。
●夫宛に封書が届きました。何が来たのか分からず２，3 日テーブルの上に。
「あっそういえば何か届いとるよ！」と夫に手渡したのは数日たってからでした。
「タイムカプセルじゃ」夫から。すぐには思い出しませんでした。そういえば 10 年前、そんなことがあったような・・・あれからもう 10 年もたつのか・・・
たくさんたくさんいろいろなことがありました。うれしいこともありました。楽しい時間もおぼえています。でもほんとに苦しく悲しくつらいことも経験しています、この苦しみがいつまで続くのかわからない、そんな時間の中で日々の楽しみを見出して暮らしているの が本音です。私だけじゃないですよね。みんな楽しそうな幸せそうな顔をして歩いてるけど、きっときっとたくさんのことを抱えてたり乗り越えてきているんだろうなって、今だからこそ思えます。10 年間の出来事がこうやって今につながっていることは事実。今をどう生きてどう乗り越えて次に向かっていく力をもらったような気がしています。年をかさねることがこんなに忙しく悩ましくそして楽しいことにも気が付きました。多分私の人生の中では最もバタバタした 10 年だったのかもしれません。これから先まだまだ何が起こるかわかりません。楽しみだけど怖いです。怖いけどでも次の 10 年もその次の 10 年も、またその次の 10 年も かなうなら見てみたいです。こんな素敵な企画ありがとうございました。
呉って素敵なまちですね。

●先日、娘が数年前に書いた、未来の自分へ、のハガキが届きました。娘は現在、県外の大学に通うため一人暮らしをしています。娘は学びたかった学問、進みたかった将来がありましたが、親である私が反対し、去年の今頃まで悩みながら、渋々親の希望する看護学部を受験し、進学しました。そのことで私は申し訳なく思っており、大変な勉強についていけるのか、辛いのでないかと心配し、心が晴れませんでした。そんな時、このハガキが届き、なんと、将来の夢は看護師と書いていました。一時でも看護師の夢を描いていたことを知り、無理強いしたのではと思っていた、私の罪悪感が少し軽くなった気がしました。このプロジェクトは未来に向かう本人の力になるだけでなく、これまでの子育てをした大事な時間を思い出し、負の思い出をいい思い出に転換させてました。心より御礼を申し上げます。

６．事業名：戦艦大和のまち呉ＰＲ事業
日　時：２０１７年7月２９日（土）１２：００～２０：００
場　所：海上自衛隊呉地方総監部城山グランド
協力団体：海上自衛隊呉地方総監部
　　呉市
　　呉まつり協会
　　一般社団法人呉観光協会
　　海軍料理研究家　高森直史氏
事業概要（方法）：
① 戦艦大和グルメグランプリ
呉サマーフェスタ２０１７に出店する飲食店に、戦艦大和にちなんだメニューを考案してもらいグランプリは飲食ブースにおいてお買い物をしていただいたお客様の投票と、審査員の皆様による投票により決定した。投票の結果グランプリは「野呂山商店」様が受賞し特設ステージ上で商品の授与を行った。

② 復刻！！戦艦大和のカレイライス
飲食ブースに呉青年会議所のブースとして戦艦大和のカレイライスを復刻し、先着５００名の方に配布した。カレイライスは海軍料理研究家の高森直史氏にご協力いただき、試作を重ねてカレイライスのレシピを復刻させた。
７分搗きの玄米と麦飯をブレンドしたライスやスプーンではなくフォークを使って食べるなど当時の時代背景にもこだわった。
前日より下ごしらえを行って当日に臨んだが１５時配布開始の前には長蛇の列ができており、５００名分のカレイライスが開始３０分でなくなってしまった。２時間で配り切れるかどうかと考えていたのでうれしい誤算ではあった。

検証方法と効果　：

　来場者へのアンケートとメンバーへのヒアリングを行った。

アンケートでは「パンチのきいた辛さで暑さがしのげた。」「祖父が作ってくれたカレーを思い出した。」「戦艦大和で戦死した従弟もこのカレーを食べていたのだなと懐かしい気持ちになった。」「当時の時代背景を感じるいいきっかけになった。」などやってよかったと思える意見をいただいた。メンバーからは「大和グルメグランプリを行ったことによりブースの販売促進につながった。」「戦艦大和のカレイライスが公表ですぐになくなったので、２５０名分ずつ２回に分けて配布仕手もよかったのではないかと意見をもらった。

７．事業名：９月例会（家族例会）

日　時：２０１７年４月３日（月）２０：２５～２０：５５

場　所：クレイトンベイホテル

協力団体：なし

事業概要（方法）：

　呉青年会議所を平素より支援頂いている、家族や身近な支援者を例会に招待した。益々のご支援を頂けるように普段、呉青年会議所が行っている例会の雰囲気を感じて頂き、青年会議所で行われている活動を説明した。

検証方法と効果　：

　メンバー及び家族・支援者へヒアリングを行った。

　家族例会と称し、最も身近でＪＣ活動を支援して頂いている方々に、例会を見て頂くことで、ＪＣ活動の一部でも理解して頂くことができた。メンバーの協力より、多くの参加者をお呼びすることができた。

また、メンバーにとっては、家族や身近な方々に目線を向けることで、日頃のＪＣ活動が支援者によって支えられていることを改めて実感し、考えるきっかけとなる例会となった。

８．事業名：年間事業報告作成事業

日　時：２０１７年３月

協力団体：なし

事業概要（方法）：

①一年間の事業活動をもとにワードにて作成し、製本した。また、ＰＤＦ化したものをホームページ上に掲載する。

②配布については、ホームページに掲載後にメンバー、特別会員、関係諸団体に案内する。現役会員についてはメンバーメールで、関係諸団体については事業報告書作成の案内文を郵便にて配布し、閲覧して頂いた。冊子については関係各所手交の上配布。

検証方法と効果　：

年初に配布した事業計画書に基づき一年間に行った事業活動の報告をメンバー、特別会員、関係諸団体に広く周知することで、我々の活動を理解して頂き、次年度以降もより円滑に活動を行うことができるようになった。

『事業報告』

魁！総務委員会
委員長　　白井　祐哉

〔スローガン〕　　All for our projects

我々公益社団法人呉青年会議所の目的は，呉のまちに「明るい豊かな社会」を築き上げることである。そのために，毎年呉市内において様々な地域貢献活動，いわゆるまちづくり事業を行うのであるが，この事業ひとつにかける時間，金額，そしてマンパワーは他に類をみない規模である。そしてこの事業に主体的に参加することこそが，奉仕・修練・友情というJC 活動の全てであると私は考えている。

そんな呉青年会議所の事業は，一部を除いて計画，準備，運営をすべて会員のみで行う，いわば手作りの事業である。そのため，会員全員が一丸となって取り組まなければ成功しない。まさしく「呉青年会議所の行う全ての事業は，呉青年会議所メンバー全員の事業」なのである。私は，この「全員一丸」の土台を作り出すのが総務委員会の役割であると考え，例会において最適な式を設営することで士気の向上を図り，そして総務委員会メンバーが先駆けて他委員会が開催する事業に参加することを心がけた。

その点，新年一発目の事業である新年互礼会でいいスタートを切ることができ，続く各事業に勢いを生み出すことができた。そして自らが企画運営する創立６５周年記念日例会，そして納会・卒業式まで，全体的に高い士気のまま１年間走りきることができたと思う。この一連の事業を経験することで，一人でも多くの会員が呉青年会議所への帰属意識を高め，次年度以降の JC 活動への参画意識が高まったのであれば幸いである。

もちろんこれは私ひとりの功績ではなく，スタッフをはじめとする委員会メンバーが一丸となって，そして総務にとって大切な業務である事務仕事を佐々木事務局員がしっかりフォローしてくれた結果に他ならない。私自身，この一年の経験をとおして，ひとりの人間としてまたひとつ成長できたかと思う。

これだから JC はやめられない。

最後に，各例会にご参加いただき式を盛り上げてくださいました多くの特別会員，ご来賓，高知青年会議所の兄弟たち，県内１１青年会議所の仲間たち，そして遠く台湾から久しぶりに来呉してくれた姉妹 JC である高雄国際青年商会のメンバー，皆さまに感謝を申し上げ一年間の報告とします。

本当にありがとうございました。

事業報告

１．事業名：総会並びに例会運営

日　時：毎総会，毎例会

場　所：クレイトンベイホテル

協力団体：なし

事業概要（方法）：

総会運営については，招集通知の発送から資料作成，出欠の確認，当日の会場設営，受付，議事録作成を行った。

例会については，規定のセレモニー運営を統括し，本年度は休憩時間を利用して１０分間程度の「魁！交流タイム」というイベントを設け，会員交流のための時間とした。多数入会した新入会員に対し事前に取材を行い，当日は委員会ごとに紹介 VTR を作成して上映，取材を基に作成したクイズ形式の発表とつなげた。新入会員のことを多くのメンバーに知ってもらうきっかけを作ることができた。

検証方法と効果：

メンバーに対しヒアリングを行った。

総会においては規則に沿った厳格な運営を行い会員の組織への帰属意識を高め，例会については規律正しいレモニー運営と休憩時間を利用した活発な会員間の交流を促したことにより，会員のＪＡＹＣＥＥとしての意識統一と結束が生まれ，本年度の青年会議所活動の円滑な運営に資することができた。

２．事業名：１月第１例会（新年互礼会）

日　時：２０１７年1月７日（土）　１９：００～２１：００

場　所：クレイトンベイホテル

協力団体：なし

事業概要（方法）：

２０１７年度の呉青年会議所の理念と基本方針について，行政機関や関係諸団体に直接伝えるために、来賓や関係諸団体，そして最も身近な市民であり協力者である特別会員をお招きし，理事長による所信表明を行った。その効果が最大限高まるよう，ムービーや照明等の演出を工夫した。歓談中には，懇親を図るとともに，事業執行の中心となる本年度の理事役員紹介を行った。

検証方法と効果：

メンバーおよび参加者にヒアリングを行った。

２０１７年度呉青年会議所の理念と基本方針について行政や関係諸団体に直接伝える事で，今後のご理解とご協力に繋げ，より成果の高い地域貢献活動を展開するための機会とすることができた。例年に比べても大勢のご来賓，関係者，特別会員の方にご参加いただき，非常に盛況のなか開催することができた。その多くの参加者に向けて，理事長の所信を効果的に伝えることができ，「理事長の理念，今年実現したいこととそれに対する強い想いがよく伝わった。今年の呉青年会議所には大いに期待したい」という感想を多く得ることができた

３．事業名：５月例会（高知合同例会）

日　時：２０１７年5月２７日（土）１８：００～２１：０５

場　所：三翠園　１Ｆ富士の間（高知県高知市鷹匠町１−３−３５）

協力団体：公益社団法人高知青年会議所

事業概要（方法）：

毎年行っている，兄弟ＪＣである公益社団法人高知青年会議所との合同例会。本年度は高知の地に赴き，高知ＪＣが企画した呉・高知合同例会「スーパー呉&高知ブラザーズ」に参加した。懇親会の席配置については，卒業年度（年齢）別での着席にすることで，より懇親を深めることができた。

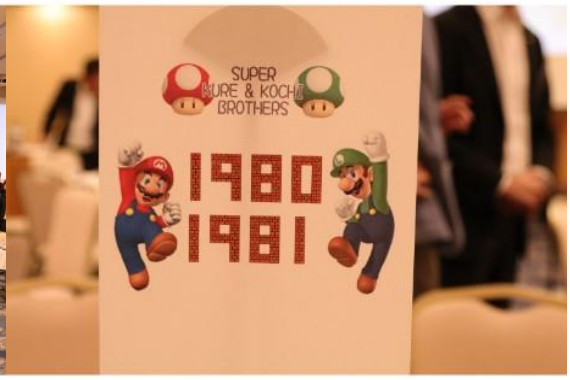
２日目はエクスカーションが行われ，それぞれメンバーの希望する内容に参加した。

検証方法と効果：

メンバーにヒアリングを行った。

改めて兄弟ＪＣの絆を確認することが出来た。特に今回に関しては，何よりも高知青年会議所の設営がおもてなしに溢れる素晴らしいものであった。参加した呉青年会議所のメンバー全員が「今年の高知さんのおもてなしは大変素晴らしく，ありがたく感じた」と述べており，確実にＪＣ全体として兄弟間の絆は深まった。素晴らしい設営により本会議所会員は刺激をもらい，またお互いに親交を深めたことにより，活発な意見交換が行われ，それぞれの行う事業にもお互いが参加するなどの交流も生

みだし，両青年会議所の行う地域貢献活動及び会員の帰属意識の向上に大いに寄与する結果となった。



４．事業名：１１月例会（創立記念日例会）

日　時：２０１７年１１月１１日（土）　１９：００～２１：００

場　所：クレイトンベイホテル

協力団体：呉ＪＣアイドルユニット『ＳＥＮＫＡＮ★大和』

事業概要（方法）：

公益社団法人呉青年会議所の創立以来の歴史を振り返ることで当団体の理念を再認識し，今後のより高度な地域貢献活動の実現に資するために開催した。特に本年は６５周年という節目の年であったため，例会全体のテーマとして「創立６５周年記念パーティー」とし，呉青年会議所の伝統が感じられるとともに，多くの関係者と楽しい時間を過ごすことで，これまでの感謝の気持ちをお伝えし，今後の地域貢献活動へのさらなるご支援・ご協力をいただけるような設えとした。

検証方法と効果：

参加者にヒアリングを行った。

記念パネルやムービー，そして歴代理事長バッヂの贈呈式という設え，そして多くの特別会員の方にご参加いただいたことで，当団体の歴史と理念を感じることがで

きる会となった。さらに本例会においては高雄 JC が来呉してくれたことにより，必然的にその姉妹締結からの歴史を振り返ることとなり，より呉青年会議所の伝統を感じる機会を得ることができた。

加えて，６５周年記念ということで非常に多くの各地青年会議所のメンバーたちにご参加いただくことができ，同じ理念で地域貢献活動を行っている仲間とのつながりというものを改めて感じることができた。この歴史とつながりが感じられたうえで，多くの仲間と盛大にお祝いすることで仲間意識を醸成し，参加メンバーの青年会議所活動に対するモチベーションを高めることができた。

５．事業名：１２月第１例会（次年度担当例会）

日　時：２０１７年１２月４日（月）１９：００～２１：００

場　所：クレイトンベイホテル

協力団体：なし

事業概要（方法）：

２０１８年度公益社団法人呉青年会議所の基本方針をメンバー全員で共有することで，次年度の地域貢献活動に対する意識を向上させ，円滑なスタートを切るために，セレモニー部分以外を次年度の委員会が設えを担当する例会を行った。

検証方法と効果：

メンバーに対しヒアリングを行った。

担当例会部分を，次年度の総務委員会が次年度の内容について担当することで，２０１８年度の呉青年会議所としての意識統一を行い，各メンバーの次年度への参画意識を醸成し，２０１８年１月１日から最良のスタートをきれるような例会となった。また，「魁！交流タイム」の結果発表を行うことで，通常例会の運営においても「今年度から次年度へ」のいい節目とすることができた。

６．事業名：１２月第２例会（卒業式，納会・卒業送別会）

日　時：２０１７年１２月１６日（土）１８：００～２１：００

場　所：クレイトンベイホテル

協力団体：なし

事業概要（方法）：

卒業生のこれまでの功績を称えると共に，卒業後の公益活動を喚起することで明るい豊かな社会を実現するために行った。卒業式は納会・送別会と別の会場で厳粛に執り行い，納会では，事業報告ＶＴＲと理事長による総括スピーチにより今年度の締

めくくりを行った。また，プレジデンシャルリースとＪＣ旗の伝達式を行い，次年度へのバトンタッチとなる場とした。卒業送別会においては，卒業生の功績を称えるため，表彰状と記念品を授与する「呉ＪＣ栄誉賞」の授与式を行った。

検証方法と効果：

メンバーにヒアリングを行った。

厳粛な雰囲気をもって卒業式および納会を行い，その後の卒業送別会を盛大に設えることで，卒業生の功績を称えるとともに卒業後への公益活動に対する気持ちを喚起することができた。さらに，その卒業生の姿を間近にみることによって，現役会員の青年会議所活動へのモチベーションを向上させることができ，明るい豊かな社会の実現に資することができた。

公益社団法人　呉青年会議所

会計報告書

自　　2017年1月1日
至　　2017年12月31日

【呉青年会議所】

貸借対照表

2017年12月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,467,697	5,144,570	-3,676,873
未収金	1,499,182	1,395,170	104,012
流動資産合計	2,966,879	6,539,740	-3,572,861
2. 固定資産			
(1)特定資産			
周年事業積立資産	3,150,000	7,500,000	-4,350,000
退職給付引当資産	2,202,000	2,148,000	54,000
特定資産合計	5,352,000	9,648,000	-4,296,000
固定資産合計	5,352,000	9,648,000	-4,296,000
資産合計	8,318,879	16,187,740	-7,868,861
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	21,000	12,000	9,000
預り金	897,501	1,118,537	-221,036
流動負債合計	918,501	1,130,537	-212,036
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,202,000	2,148,000	54,000
固定負債合計	2,202,000	2,148,000	54,000
負債合計	3,120,501	3,278,537	-158,036
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	5,198,378	12,909,203	-7,710,825
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(3,150,000)	(7,500,000)	(-4,350,000)
正味財産合計	5,198,378	12,909,203	-7,710,825
負債及び正味財産合計	8,318,879	16,187,740	-7,868,861

【呉青年会議所】

正味財産増減計算書

2017年1月1日から2017年12月31日まで

（単位：円）

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
Ⅰ．一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
（1）経常収益			
基本財産運用益	(0)	(0)	(0)
基本財産受取利息	0	0	0
受取入会金	(1,650,000)	(2,850,000)	(-1,200,000)
受取入会金	1,650,000	2,850,000	-1,200,000
受取会費	(14,750,000)	(12,405,000)	(2,345,000)
普通会員受取会費	10,475,000	8,175,000	2,300,000
特別会員受取会費	4,275,000	4,230,000	45,000
事業収益	(844,187)	(570,000)	(274,187)
登録料収入	844,187	570,000	274,187
受取補助金等	(400,000)	(462,165)	(-62,165)
補助金収入	400,000	462,165	-62,165
受取寄付金	(0)	(205,692)	(-205,692)
寄付金収入	0	205,692	-205,692
雑収益	(551,467)	(124,205)	(427,262)
受取利息	1,765	2,805	-1,040
雑収入	549,702	121,400	428,302
経常収益計	(18,195,654)	(16,617,062)	(1,578,592)
（2）経常費用			
事業費	(20,007,738)	(10,441,238)	(9,566,500)
給与手当	1,561,398	1,565,456	-4,058
福利厚生費	429,604	341,889	87,715
旅費交通費	14,976	212,060	-197,084
通信運搬費	195,891	220,345	-24,454
消耗品費	1,354,677	1,596,172	-241,495
印刷製本費	2,029,259	1,374,813	654,446
燃料費	0	0	0
光熱水料費	58,606	277,229	-218,623
賃借料	667,875	665,688	2,187
保険料	112,200	16,500	95,700
諸謝金	8,459,264	484,371	7,974,893
支払助成金	250,000	250,000	0
委託費	1,344,156		1,344,156
会場費	1,572,627	588,180	984,447
レンタル料	533,520	943,442	-409,922
記念品費	652,690	960,981	-308,291
広告費	679,195	780,312	-101,117
清掃費	64,800	136,800	-72,000
退職積立繰入額	27,000	27,000	0
雑費	0	0	0

【呉青年会議所】

正味財産増減計算書

2017年1月1日から2017年12月31日まで

（単位：円）

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
管理費	(5,148,775)	(4,768,428)	380,347
給与手当	1,561,397	1,565,455	-4,058
福利厚生費	267,303	269,889	-2,586
会議費	28,340	185,180	-156,840
通信運搬費	355,108	278,431	76,677
消耗品費	255,987	201,359	54,628
印刷製本費	64,627	82,867	-18,240
光熱水料費	52,125	47,228	4,897
賃借料	665,688	665,688	0
諸謝金	248,424		248,424
租税公課	21,000	21,000	0
支払手数料	195,346	178,148	17,198
清掃費	64,800	64,800	0
図書費	209,750	163,500	46,250
諸会費	946,210	930,900	15,310
退職積立繰入額	27,000	27,000	0
貸倒引当金繰入額	60,000		60,000
雑費	125,670	86,983	38,687
経常費用計	(25,156,513)	(15,209,666)	(9,946,847)
評価損益等調整前当期経常増減額	【 -6,960,859 】	【 1,407,396 】	【 -8,368,255 】
評価損益等計	(0)	(0)	(0)
当期経常増減額	【 -6,960,859 】	【 1,407,396 】	【 -8,368,255 】
２．経常外増減の部			
（１）経常外収益			
経常外収益計	(0)	(0)	(0)
（２）経常外費用			
会費等回収不能額	749,966	15,000	734,966
経常外費用計	(749,966)	(15,000)	(734,966)
当期経常外損益増減額	【 -749,966 】	【 -15,000 】	【 -734,966 】
指定正味財産からの振替額	(0)	(0)	(0)
当期一般正味財産増減額	【 -7,710,825 】	【 1,392,396 】	【 -9,103,221 】
一般正味財産期首残高	12,909,203	11,516,807	1,392,396
一般正味財産期末残高	5,198,378	12,909,203	-7,710,825
Ⅱ．指定正味財産増減の部			
特定財産運用益			
預金利息収入	(0)	(0)	(0)
一般正味財産への振替額	(0)	(0)	(0)
当期指定正味財産増減額	【 0 】	【 0 】	【 0 】
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ．正味財産期末残高	【 5,198,378 】	【 12,909,203 】	【 -7,710,825 】

【呉青年会議所】

正味財産増減計算書内訳表

2017年1月1日から2017年12月31日まで

（単位：円）

科目	公益目的事業等会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1	共通	小計	他1	共通	小計			
Ⅰ．一般正味財産増減の部									
1．経常増減の部									
（1）経常収益									
①基本財産運用益	(0)		(0)	(0)		(0)	(0)		(0)
基本財産受取利息			0			0	0		0
②受取入会金	(1,650,000)		(1,650,000)	(0)		(0)	(0)		(1,650,000)
受取入会金	1,650,000		1,650,000			0	0		1,650,000
③受取会費	(7,375,000)		(7,375,000)	(1,869,466)		(1,869,466)	(5,505,534)		(14,750,000)
普通会員受取会費	5,237,500		5,237,500	1,368,182		1,368,182	3,869,318		10,475,000
特別会員受取会費	2,137,500		2,137,500	501,284		501,284	1,636,216		4,275,000
④事業収益	(788,187)		(788,187)	(56,000)		(56,000)	(0)		(844,187)
登録料収入	788,187		788,187	56,000		56,000	0		844,187
⑤受取補助金等	(400,000)		(400,000)	(0)		(0)	(0)		(400,000)
補助金収入	400,000		400,000			0	0		400,000
⑥受取寄付金	(0)		(0)	(0)		(0)	(0)		(0)
寄付金収入	0		0			0	0		0
⑦雑収益	(0)		(0)	(0)		(0)	(551,467)		(551,467)
受取利息			0			0	1,765		1,765
その他収益			0			0	549,702		549,702
経常収益計	10,213,187	0	10,213,187	1,925,466	0	1,925,466	6,057,001	0	18,195,654
（2）経常費用									0
事業費	(18,082,272)		(18,082,272)	(1,925,466)		(1,925,466)			(20,007,738)
給与手当	1,561,398		1,561,398			0			1,561,398
福利厚生費	267,304		267,304	162,300		162,300			429,604
旅費交通費	0		0	14,976		14,976			14,976
通信運搬費	151,447		151,447	44,444		44,444			195,891
消耗品費	1,244,707		1,244,707	109,970		109,970			1,354,677
印刷製本費	1,396,669		1,396,669	632,590		632,590			2,029,259
燃料費	0		0	0		0			0
光熱水料費	58,606		58,606	0		0			58,606
賃借料	667,875		667,875	0		0			667,875
保険料	112,200		112,200	0		0			112,200
諸謝金	8,413,264		8,413,264	46,000		46,000			8,459,264
租税公課	0		0	0		0			0
支払助成金	250,000		250,000	0		0			250,000
委託費	1,114,356		1,114,356	229,800		229,800			1,344,156
会場費	1,060,687		1,060,687	511,940		511,940			1,572,627
レンタル料	533,520		533,520	0		0			533,520
記念品費	479,244		479,244	173,446		173,446			652,690
広告費	679,195		679,195	0		0			679,195
清掃費	64,800		64,800	0		0			64,800
退職積立繰入額	27,000		27,000	0		0			27,000
雑費			0	0		0			0
			0			0			0
管理費	( )		( )	( )		( )	(5,148,775)		(5,148,775)
給与手当							1,561,397		1,561,397
福利厚生費							267,303		267,303
会議費							28,340		28,340
旅費交通費							0		0
通信運搬費							355,108		355,108
消耗品費							255,987		255,987
修繕費							0		0
印刷製本費							64,627		64,627
燃料費							0		0
光熱水料費							52,125		52,125
賃借料							665,688		665,688
保険料							0		0
謝礼金							248,424		248,424
租税公課							21,000		21,000
支払手数料							195,346		195,346
清掃費							64,800		64,800
図書費							209,750		209,750
諸会費							946,210		946,210
退職積立繰入額							27,000		27,000
貸倒引当金繰入額							60,000		60,000
雑費							125,670		125,670
経常費用計	18,082,272	0	18,082,272	1,925,466	0	1,925,466	5,148,775	0	25,156,513
当期経常増減額	-7,869,085	0	-7,869,085	0	0	0	908,226	0	-6,960,859
2．経常外増減の部									0
（1）経常外収益									0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（2）経常外費用									0
会費等回収不能額				0			749,966		749,966
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	749,966	0	749,966
当期経常外損益増減額	0		0	0		0	-749,966		-749,966
指定正味財産からの振替			0			0			0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-7,869,085	0	-7,869,085	0	0	0	158,260	0	-7,710,825
一般正味財産期首残高	7,047,037		7,047,037	0		0	5,862,166		12,909,203
一般正味財産期末残高	-822,048		-822,048	0		0	6,020,426		5,198,378
Ⅱ．指定正味財産増減の部									0
一般正味財産への振替			0						0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			0			0	0		0
指定正味財産期末残高	0		0	0		0	0		0
Ⅲ．正味財産期末残高	-822,048		-822,048	0		0	6,020,426		5,198,378

財務諸表に対する注記

Ⅰ 特定資産の増減額及びその残高
特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
【特定資産】				
周年事業積立資産	7,500,000	3,150,000	7,500,000	3,150,000
退職給付引当資産	2,148,000	54,000	0	2,202,000
合計	9,648,000	3,204,000	7,500,000	5,352,000

特定資産の財源の内訳
特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
【特定資産】				
周年事業積立資産	3,150,000	—	3,150,000	—
退職給付引当資産	2,202,000	—	—	2,202,000
合計	2,202,000	—	3,150,000	2,202,000

Ⅱ 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額
受取市補助金	呉市	0	400,000	400,000
合計		0	400,000	400,000

Ⅲ その他
・未収会費の回収不能額の計上については、3ヶ年を超えて支払請求を通知したにもかかわらず、支払意思の表示が全く確認されないものを計上処理している。

附属明細書

Ⅰ　基本財産及び特定資産の明細
注記に記載しているため、省略する。

Ⅱ　引当金の明細

（単位：円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,148,000	54,000	0	0	2,202,000

財産目録

2017年12月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）	現金	手元保管	運転資金として	381,273
	預金	【普通預金】		
		呉信用金庫本店営業部	No0456381；運転資金として	41,095
		呉信用金庫本店営業部	No1011799；運転資金として	691,980
		もみじ銀行呉営業部	No2248674；運転資金として	134,146
		広島銀行呉支店	No0599404；運転資金として	219,203
			〈現金・預金計〉	1,467,697
	未収金	普通会員20名 特別会員13名	当会計期間内に会員が納入すべき会費・入会金の未収分である	1,499,182
			〈未収金計〉	1,499,182
流動資産合計				**2,966,879**
（固定資産） 特定資産	周年事業積立資産	【普通預金】		
		呉信用金庫本店営業部	No1039248 周年事業の積立資金として管理している	3,150,000
	退職給付引当資産	【定期預金】		
		広島銀行呉支店	No3045298 職員退職給付の引当資産として管理している	2,202,000
			〈特定資産計〉	5,352,000
固定資産合計			*うち特定資産*	5,352,000
資産合計				**8,318,879**
（流動負債）	未払金	空本印刷所	2017年度事業報告書作成費	19,440
		日本郵便	2017年度事業報告書郵送代	1,560
	預り金	普通会員	普通会員個人が負担すべき例会食事代及び登録料等の支払いのための預り金である	703,922
		社会保険料・源泉所得税・市民税		193,579
			〈未払金・預り金計〉	918,501
流動負債合計				**918,501**
（固定負債）	退職給付引当金	職員分	【退職給付引当金】 公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金	2,202,000
			〈退職給付引当金計〉	2,202,000
固定負債合計				**2,202,000**
負債合計				**3,120,501**
正味財産				**5,198,378**

監査報告書

公益社団法人　呉青年会議所
理事長　　藤井　聖　　殿

2018年1月18日

公益社団法人 呉青年会議所
監事　明神政之
監事　糸谷知剛

私たち監事は、2017年1月1日から2017年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備を努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済資料等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

一、事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果計算書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

監査報告書

公益社団法人 呉青年会議所
理事長　　藤井 聖　　殿

2018年1月18日

広島県呉市中通2丁目4番14号

武安会計事務所
監査人・税理士　武安紘二

上記、公益社団法人呉青年会議所2017年度収支決算報告書に関して本職は補助者2名をもって、公益社団法人呉青年会議所会計全般における現金の実査、預貯金の残高確認、諸帳簿の記帳確認、証憑書類、関係書類の照合確認等監査致しました結果、すべて適正・適法に処理が為されて且つ上記のとおり正当に表示されていることを認めます。